

9. 社会貢献

「現状及び点検・評価」

(1) 本学においては、社会貢献は教育、研究とともに大学の重要な使命の 1 つとして位置付けているが、本学は、社会の医療、健康、保健を支える専門的な人材を養成する教育機関であることから、特に健康・保健面での社会貢献を積極的に進めることとしている。

(2) 公開講座の開催

① 公開講座は、本学の教育と研究の成果を公開し、地域住民に医療・健康・保健に関する情報を広く提供し、健康生活へのニーズに応えること、併せて保健医療関係者の資質向上に寄与することを目的として平成 17 年度開学時に、公開講座規程を定めるとともに、公開講座委員会において（委員は看護学科、医療栄養学科及び医療情報学科各教員 2 名、教務部長、企画部長 8 名で構成）公開講座の企画立案等を行い、円滑な運営を図っている。

② 本学は、世田谷キャンパス（主に医療栄養学科及び医療情報学科）及び五反田キャンパス（主に看護学科及び大学院）において、教育研究を行っているが、平成 18 年度から世田谷区との共催による公開講座を毎年度実施するとともに、大学単独の主催による公開講座においては、平成 19 年度では品川区後援とするなど地域住民に医療・健康・保健に関する情報を広く提供し、健康生活へのニーズに応えるとする公開講座の目的に則って積極的に毎年度実施していることは評価できる。

（表 49 世田谷区との共催による公開講座実施状況）

（表 50 公開講座実施状況）

③ 公開講座実施後のアンケート結果では、ほとんどの参加者がいずれも「とても分かりやすかった」、「とてもためになった」、「とても良かった」と回答し高い評価を得ていることから、今後も健康生活へのニーズに応え興味と関心を持つ講座の企画実施が望まれる。また、公開講座の実施に当たっては、世田谷区報に掲載し、チラシ・ポスターを世田谷区及び品川区の協力により各所に配布するとともに、大学ホームページでの PR を行うなど積極的な広報を行っているが、世田谷区及び品川区以外にも広報を積極的に行い幅広く参加者を募ることとする。

④ 大学院医療保健学研究科においては、平成 18 年度から毎年度概ね 8 月下旬から 9 月上旬の 6 日間にわたって本学五反田キャンパスにおいて「将来の感染制御学分野で指導的な役割を果たす人材を育成することを目的とし、時代に

即した新しい課題や問題点を中心とした講習会」として本学主催による大学院教育協議会開催しており、毎年度 20 名弱の参加者を得ている。また、大学院の研究への取り組み及び最新の研究成果を広く社会に紹介することを目的として大学院公開講座を開催しているが、毎回概ね 200 名の参加者があり、好評である。

(表 51 大学院教育協議会実施状況)

(表 52 大学院公開講座実施状況)

- ⑤ 各学科の教員においては、大学主催による公開講座だけではなく、幅広く学外の施設等において教育研究の成果発表などの公開講座を開催している事例があるが、今後も機会をとらえて積極的に教育研究の取り組みについて社会への PR を行うことが望まれる。

(3) 学生の地域活動への参加

- ① 企業・病院等における実習経験及び成果をもとに、地域社会等の求めに応じて学生がボランティア活動を積極的に行えるよう奨励するとともに情報提供を行っている。
- ② ボランティア活動の状況としては、児童養護施設等における介助、高齢者・障害者への介助及び支援、地元の行事等に参加して地域との交流を深める活動、医療に関わる活動・参加など多様な実施内容となっているが、医療看護系の大学で学ぶ学生にとっては、ボランティア活動によって勉学意欲の向上に資するとともに社会貢献・社会参加の重要性を認識する有意義な機会となっていると判断される。

(表 53 学生によるボランティア活動の状況について)

「今後の改善・改革に向けた方策」

- (1) 公開講座については、今後、参加者数の増を図るため、幅広い年齢層を対象とした講座を企画実施するとともに、広報活動の拡充が必要である。なお、大学院の公開講座については、平成 21 年度に我が国ではまだ分野の少ない感染制御学分野の博士課程が設置されることから、講座の一層の充実が期待される。
- (2) 学生の地域活動への参加については、勉学意欲の向上を図り、社会貢献・社会参加の重要性を認識する好機であることから今後も積極的に参加するよう奨励する必要がある。

表 49 世田谷区との共催による公開講座実施状況

	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度
共 催	世田谷区社会福祉事業団	世田谷区立高齢者センター新樹苑	世田谷区立高齢者センター新樹苑
回 数	3 回	2 回	1 回
実 施 日 時	第 1 回 18.3. 4 (土) 9 : 00~12 : 00 第 2 回 18.3.11 (土) 9 : 00~12 : 00 第 3 回 18.3.18 (土) 9 : 00~12 : 00	第 1 回 18.10.22 (日) 10 : 00~11 : 30 第 2 回 18.11.19 (日) 10 : 00~11 : 30	19.10.14 (日) 10 : 00~11 : 30
参 加 者 数	51 名 (第 1 回 15 名、第 2 回 24 名、第 3 回 12 名)	112 名	69 名
受 講 料	各回 1,000 円	無料	無料
講座名及び講師	第 1 回 「やってみよう！足の機能計測と転倒予防体操」 医療情報学科講師 山下 和彦 第 2 回 「健康寿命をのばすための食生活 -生活習慣病はコントロールできる-」 医療栄養学科教授 下田 妙子 「高齢者にやさしい体づくり」 医療栄養学科教授 荒木 祐治 第 3 回 「認知症を理解しよう」 看護学科助教授 福田 珠恵 非常勤講師 湊田 英津子	第 1 回 「より豊かに生きるための食と運動」 医療栄養学科教授 上田 伸男 第 2 回 「心と身体の健康 -ストレスとメタボリックシンドローム (内臓脂肪症候群) の予防法-」 看護学科助教授 日下 和代	「安心して健康に暮らせる地域をめざして -家庭における応急手当について-」 看護学科准教授 古家 明子

	平成 17 年度		平成 18 年度		平成 19 年度	
アンケート回答者数	49 名		56 名		37 名	
性 別	女性 29 名、男性 20 名		女性 45 名、男性 11 名		女性 30 名、男性 7 名	
年 代	70 歳以上	36.7%	70 歳以上	48.2%	70 歳以上	37.8%
	50-69 歳	44.9%	50-69 歳	21.4%	50-69 歳	51.4%
	49 歳以下	18.4%	49 歳以下	30.4%	49 歳以下	10.8%
在 住	世田谷区	53.1%	世田谷区	71.4%	世田谷区	81.1%
	その他の区等	47.9%	その他の区等	28.6%	その他の区等	18.9%
感 想	とてもためになった	69%	とても良かった	84%	とてもためになった	84%
	ためになった	31%			とても分かりやすかった	73%
講座を知った方法	チラシ・ポスター	61%	チラシ・ポスター	50%	世田谷区報	49%
	大学のHP	8%	世田谷区報	23%	チラシ・ポスター	32%
	その他	31%	大学のHP	5%	その他	19%
			その他	22%		

表 50 公 開 講 座 実 施 状 況

	平成 18 年度		平成 19 年度	
	第 1 回	第 2 回	第 1 回	第 2 回
後 援	—	—	品川区後援	
実 施 日 時	19.3.10 (土) 9:30~12:30	19.3.17 (土) 9:30~12:30	20.3.15 (土) 13:00~16:00	20.3.22 (土) 13:00~16:00
実 施 場 所	世田谷校舎	〃	五反田校舎	〃
受 講 料	1,000 円	1,500 円	1,000 円	1,000 円
講 座 名	「ナイスパパ、やさしいおじいちゃんのためのスマートライフ」		健康実践講座	
講 座 の 内 容	「デジカメ写真の加工とアルバムの作成—photo shop Elements 入門編」	「簡単料理教室」	「足の健康と若返り」	「認知症の理解と予防」
講 師	医療情報学科講師 深澤 弘美	医療栄養学科講師 西念 幸江	医療情報学科准教授 山下 和彦	看護学科講師 湊田 英津子
参 加 者 数	9 名	6 名	22 名	27 名
アンケート回答者数	アンケートは行わなかった		21 名	27 名
性 別			女性 17 名、男性 4 名	女性 23 名、男性 4 名
年 代			70 歳以上 71.4% 50-69 歳 28.6%	70 歳以上 77.8% 50-69 歳 22.2%
在 住			品川区 95.4% その他の区等 4.6%	品川区 96.3% その他の区等 3.7%
感 想			とてもためになった 100% とてもわかりやすかった 95.2%	とてもためになった 93% とてもわかりやすかった 93%
講座を知った方法			チラシ・ポスター 57% 友人知人 24% 施設・クラブ等 19%	チラシ・ポスター 56% 友人知人 30% 施設・クラブ等 14%

表51 大学院教育協議会実施状況

	第1回	第2回	第3回
	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実施日時	18.8.28(月)～18.9.2(土) 9:00～17:50	19.8.27(月)～19.9.1(土) 9:00～17:50	20.9.1(月)～20.9.6(土) 9:00～17:50
実施場所	五反田校舎 別館	五反田校舎 別館	五反田校舎 別館
受講料	50,000円	50,000円	50,000円
講座名	感染制御大学院教育協議会	感染制御大学院教育協議会	感染制御大学院教育協議会
講座の内容	将来の感染制御学分野で指導的な役割を果たす人材を育成することを目的とし、時代に即した新しい課題や問題点を中心とした講習会を開催する。	同 左	同 左
講師	感染制御大学院教育協議会メンバー ・木村 哲 (国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター長。現職：東京逡信病院院長) ・小池 和彦 (東京大学大学院医学系研究科教授) ・小林 寛伊 (東京医療保健大学長、NTT 東日本関東病院名誉院長) ・大久保 憲 (東京医療保健大学医療情報学科長) ・遠藤 英子(東邦大学医学部教授) 他 総数14名	同左を含め講師総数20名	同左を含め講師総数23名
参加者数	20名	11名	13名

表 52 大 学 院 公 開 講 座 実 施 状 況

	第 1 回	第 2 回
	平成 18 年度	平成 20 年度
実 施 日 時	19.1.20 (土) 13:30~16:30	20.7.5 (土) 13:00~16:30
実 施 場 所	学術総合センター—ツ橋講堂	東京ステーションコンファレンス
受 講 料	無料	1,000 円
講 座 名	「次世代のチーム医療」	「感染制御の歩む道」
講 座 の 内 容	21 世紀医療に関する新しい方向性について及びアメリカにおける consumer informatics について。	感染制御学コースの大学院生の研究成果を軸に、感染制御に関するトピックスを解説。
講 師	小林 寛伊 (東京医療保健大学長) 大久保 憲 (東京医療保健大学医療情報学科長) 坂本 すが (東京医療保健大学看護学科長) 下田 妙子 (東京医療保健大学医療栄養学科教授) 柳田 洋一郎 (東京マタニティクリニック院長)	小林 寛伊 (東京医療保健大学長) 大久保 憲 (東京医療保健大学医療情報学科長) 東京医療保健大学大学院生 9 名
参 加 者 数	205 名	187 名
アンケート回答者数 講座を知った方法	アンケートは行わなかった	125 名 勤務先等からの案内 67% 大学院のホームページ 24% チラシ・ポスター・雑誌 9%
公開講座の時間		ちょうど良い 93% 長い 2% 短い 5%
公開講座の内容		妥当 67% 難しい 22% もう少し専門的でも良い 11%

表 53 学生によるボランティア活動の状況について（平成 18 年度～平成 20 年度）

活動内容	活動場所	実施時期	参加者数	目的・効果
1. 児童養護施設等における介助活動	中里学園児童養護施設（横浜市）	毎月第 4 土曜日	ボランティアサークル員 40 名が 5～6 名単位に分かれて活動を行う	発達に遅れのある児童の外出時の引率、食事等の介助を通して、その重要性を体験することができた。
	たんぽぽクラブ（江東区）での介助支援	18. 8. 2（水）～ 8. 31（木）	2 名	発達遅れのある児童、生徒の遊び相手、外出時の引率、プールでの介助等を通して、その重要性を体験することができた。
	キッズエナジー大阪サマーキャンプ（大阪ユニバーサルスタジオ（大阪市））	19. 8. 24（金）～ 8. 25（土）	1 名	多糖症候群の子供達の引率、食事等の介助を通して、その重要性を体験することができた。
2. 高齢者・障害者への介助及び支援活動	デイ・ホーム野沢（世田谷区）での介助支援	18. 9. 11（月）～ 9. 14（木）	3 名	高齢者の話し相手、食事介助、外出時の誘導等を通して介護の深みを体験することができた。
	中延複合施設（品川区）のくつろぎ祭り	・ 19. 9. 1（土） ・ 20. 9. 6（土）	13 名 4 名	祭りの当日、高齢者・障害者の食事等の支援活動により介護の深みを体験することができた。
	社会福祉法人 三徳会（品川区）の成幸ホームの成幸まつり	・ 19. 9. 15（土） ・ 20. 8. 30（土）	5 名 7 名	” ”
	社会福祉法人 三徳会 荏原ホーム（品川区）の荏原まつり	20. 8. 16（土）	14 名	”
3. 地元の行事等に参加して地域との交流を深める活動	世田谷プレイパーク（世田谷ボランティア協会主催）ボランティア活動	18. 8. 28（月）～ 8. 31（木）	3 名	子供達との交流を通して地域住民との交流・コミュニケーションを円滑に行えるようになった。
	世田谷ボランティアセンターにおけるボランティア活動	18. 9. 8（金）～ 9. 10（日）	1 名	英国の高校生の出迎え、都内観光、日本文化の紹介を通して、国際交流の意義を理解するとともに自己啓発に役立った。
	東五反田児童センター（品川区）主催によるこども祭り（ハローフレンドフェスタ）参加	18. 11. 11（土）	8 名	子供達との交流を通して地域住民との交流・コミュニケーションを円滑に行えるようになった。

活動内容	活動場所	実施時期	参加者数	目的・効果
4. 医療に関わる活動・参加	世田谷線沿線駅周辺と商店街クリーン大作戦（世田谷駅周辺）	・ 18. 9. 3（日） ・ 19. 9. 2（日）	7名 8名	大学所在地の地元の活動に積極的に参加することにより、住民との交流・コミュニケーションを円滑に行えるようになった。
	世田谷八幡宮例大祭における神輿担ぎ等	19. 9. 15（土）～ 9. 16（日）	5名	大学所在地の地元の活動に積極的に参加することにより、住民との交流・コミュニケーションを円滑に行えるようになった。
	楽市楽座（地域振興祭り）（世田谷区）	19. 11. 3（土）～ 11. 4（日）	6名	”
	せたがや・環境行動DAY2007エコサタデー	19. 11. 17（土）	2名	”
	NTT 東日本関東病院（品川区）ふれあいフェスティバル	18. 10. 13（金）	11名	・ オータムコンサート実施に伴い、誘導等の担当によって地域住民、患者様との円滑な交流に寄与することができた（平成 18 年度）。
		・ 19. 5. 26（土） ・ 20. 5. 24（土）	12名 11名	・ チアダンスサークルがダンスを披露することによって地域住民、患者様との円滑な交流に寄与することができた（平成 19・20 年度）。
	世田谷区立太子堂小学校1年生及び2年生の遠足引率	20. 6. 5（木）	5名	地元の小学生への支援を通して教員及び父母の信頼を得るとともに参加した学生の勉学意欲を一層増加する機会となった。
	NTT 東日本関東病院（品川区）におけるトリアージ訓練	・ 18. 10. 11（水） ・ 19. 11. 8（木）	21名 48名	大事故、災害時における救命の順序を決める訓練に参加し、医療看護系の大学で学ぶ学生としてその重要性を認識する機会となった。
	日本赤十字社が実施する駅等における献血の呼びかけ等の支援活動 ・ 平成 18 年度 新宿駅周辺 ・ 平成 19 年度 横浜市	・ 18. 8. 30（水）～ 9. 2（土） ・ 19. 10. 21（日）	19名 5名	医療看護系の大学で学ぶ学生として献血の重要性を認識する機会となった。